

事業所名

ままはぐ西宮鳴尾事業所

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

7月

18日

法人（事業所）理念		「お子さまとご家族と共に歩む」・・・成長していく過程で、たくさんの経験を当たり前にしてほしい。五感を刺激して、いろいろな感覚、感じる気持ちを知ってほしい。好きなことを選択し、自分の意思で生活してほしい。まま、パパの気持ちに寄り添い、より良い方法で支援していくことが出来るよう努めていく。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・支援員やお子さま同士の関わりを通して、一人ひとりに合った支援で社会性や自主性の発達を促していく。 ・お子さまの表現してくれる小さなサインを見逃さずに受け止め、「楽しみながら」様々な活動に取り組む事が出来るよう支援していく。 ・関係機関の方々と連携し、お子さまとご家族を支え、一緒に悩み、喜び、共に歩んでいく。 							
営業時間		8時	30分	15時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期的な検温、健康状態確認（検温は基本的に1日2回実施） ※医療的ケアが必要な方については看護師が中心となり確認 ※意思表示が難しいお子様に対しては、状態や特性等に配慮し、心身の異変に気付く事が出来るよう、観察を実施。 ◆トイレトレーニング（一人ひとりに合った対応で支援） / ◆衣服の着脱、靴の脱ぎ履き（本人の保有する能力を活かしながら支援） ◆手洗い（適切な手洗い方法を掲示又は声掛けの実施） / ◆食事（楽しく食事を摂る環境、嚥下や咀嚼、姿勢について支援） / ◆午睡（身体を休める為の時間を設定） ◆環境配慮（お子様の特性に応じたツールや対応方法を検討し、支援） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポジショニング確認（日常生活に必要な、動作の基本となる姿勢の保持や、筋力の維持、強化を図る） ※足置きや身体を支えるマット、クッション等、補助的手段を活用して支援 ◆保有する感覚の活用（視覚や聴覚、触覚などのそれぞれが保有する感覚を十分に活用出来るよう、療育道具（市販品や手作り）を用いた、遊びを通しての支援） ◆積み木遊び、ボタン留め、製作、ボール遊び等 / ◆粗大運動（音楽に合わせて楽しく身体を動かす事が出来るよう支援） ◆体操、ダンス、サーキット遊び、 ◆環境配慮（温度調節、視覚刺激の調整等、個々に対する補助具の使用 ※感覚グッズ、保冷剤等 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝の会（日付、天気の把握、ご利用児メンバー確認等による感覚・数の認知形成） ◆1日の流れ確認（1日の流れを示すタイムテーブル確認による時間の認知形成） ◆五感の活用（スライムや粘土等の感触遊びや製作による物質の変化と感覚の認知形成の支援） ◆ブロック、プットイン遊び（空間把握の認知形成の支援） ◆季節変化への興味（感性形成の為の外出支援） 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◆意思の表出（指差しや身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達が出来よう支援） ※言葉や文字を用いたゲームや遊び、ごっこ遊び等 ◆終わりの会（一日を振り返り、気持ちの伝達又は共有） ◆コミュニケーション手段の選択 ※自発的な意思表示が難しい場合は、絵カード等を用いて言語に代わるものを利用し、相手に伝わったという気持ちを繰り返し体験する事により、意思表出の機会が増えるよう支援 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者との関わり（支援員との関わりから始め、信頼関係構築。様子を見ながら徐々に他児同士の関わりを促す） ※一人遊び中心で他児に無関心の場合は、一人遊びの状態から並行遊びを実施。支援員が介入し、連合的な遊びを組み合わせていく事で少しずつ小集団での関わりに慣れていく ◆小集団への参加（役割分担、玩具の貸し借りや共有、協力、同じ活動への参加等、特性を理解した上で、有効的な支援を実施） ◆模倣行動支援（見立て遊びやごっこ遊び等を通して、想像力や表現力、協調性、ルールを守るといった社会性の発達を支援） 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ◆定期的な面談の実施 ◆送迎時間の調整（個別支援計画書別表に基づいた範囲での調整） ◆関係機関の連携による支援体制の構築 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ◆お子様の情報や保護者のご意向等について、移行先への伝達 ◆併行通園の場合は、支援方法等の共有 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ◆医療機関や保健センター、教育等の専門機関との連携 ◆個別の担当者会議への出席 ◆自立支援協議会（定例会等）への出席 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ◆事業所内研修の実施（義務化されている研修+BLS研修） ◆職種毎の専門的な外部研修（看護師向け、指導員向け、管理者向け等） 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ◆戸外活動（お出かけイベント） ◆季節に応じた行事イベント（夏祭り、水遊び、クリスマス会等） 							

事業所名

ままはぐ西宮鳴尾事業所

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

7月

18日

法人（事業所）理念		「お子さまとご家族と共に歩む」・・・成長していく過程で、たくさんの経験を当たり前にしてほしい。五感を刺激して、いろいろな感覚、感じる気持ちを知ってほしい。好きなことを選択し、自分の意思で生活してほしい。まま、ばばの気持ちに寄り添い、より良い方法で支援していくことが出来るよう努めていく。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・支援員やお子さま同士の関わりを通して、一人ひとりに合った支援で社会性や自主性の発達を促していく。 ・お子さまの表現してくれる小さなサインを見逃さずに受け止め、「楽しみながら」様々な活動に取り組む事が出来るよう支援していく。 ・関係機関の方々と連携し、お子さまとご家族を支え、一緒に悩み、喜び、共に歩んでいく。 						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期的な検温、健康状態確認(検温は基本的に1日2回実施) ※医療的ケアが必要な方については看護師が中心となり確認 ※意思表示が難しいお子様に対しては、状態や特性等に配慮し、心身の異変に気付く事が出来るよう、観察を実施。 ◆トイレトレーニング(一人ひとりに合った対応で支援) / ◆衣服の着脱、靴の脱ぎ履き(本人の保有する能力を活かしながら支援) ◆手洗い(適切な手洗い方法を掲示又は声掛けの実施) / ◆食事(楽しく食事を摂る環境、嚥下や咀嚼、姿勢について支援) / ◆午睡(必要に応じて) ◆環境配慮(お子様の特性に応じたツールや対応方法を検討し、支援) 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポジショニング確認(日常生活に必要な、動作の基本となる姿勢の保持や、筋力の維持、強化を図る) ※足置きや身体を支えるマット、クッション等、補助的手段を活用して支援 ◆保有する感覚の活用(視覚や聴覚、触覚などのそれぞれが保有する感覚を十分に活用出来るよう、療育道具(市販品や手作り)を用いた、遊びを通しての支援) ◆ボタン留め、製作、バランスボール等 / ◆粗大運動(音楽に合わせて楽しく身体を動かす事が出来るよう支援) ◆体操、ダンス、サーキット等 ◆環境配慮(温度調節、視覚刺激の調整等、個々に対する補助具の使用 ※感覚グッズ、保冷剤等) 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝の会※長期休暇中(日付、天気の把握、ご利用児メンバー確認等による感覚・数の認知形成) ◆1日の流れ確認(1日の流れを示すタイムテーブル確認による時間の認知形成) ◆五感の活用(スライムや粘土等の感触遊びや製作による物質の変化と感覚の認知形成の支援) ◆ブロック、プットイン遊び(空間把握の認知形成の支援) ◆季節変化への興味(感性形成の為の外出支援) 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◆意思の表出(指差しや身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達出来るよう支援) ※言葉や文字を用いたゲームや遊び、ごっこ遊び等 ◆終わりの会(一日を振り返り、気持ちの伝達又は共有) ◆コミュニケーション手段の選択 ※自発的な意思表示が難しい場合は、絵カード等を用いて言語に代わるものを利用し、相手に伝わったという気持ちを繰り返し体験する事により、意思表出の機会が増えるよう支援 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者との関わり(支援員との関わりから始め、信頼関係構築。様子を見ながら徐々に他児同士の関わりを促す) ※一人遊び中心で他児に無関心の場合は、一人遊びの状態から並行遊びを実施。支援員が介入し、連動的な遊びを組み合わせる事で少しずつ小集団での関わりに慣れていく ◆小集団への参加(役割分担、玩具の貸し借りや共有、協力、同じ活動への参加等、特性を理解した上で、有効的な支援を実施) ◆模倣行動支援(見立て遊びやごっこ遊び等を通して、想像力や表現力、協調性、ルールを守るといった社会性の発達を支援) 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期的な面談の実施 ◆送迎時間の調整(個別支援計画書別表に基づいた範囲での調整) ◆関係機関の連携による支援体制の構築 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ◆お子様の情報や保護者のご意向等について、移行先への伝達 ◆併行利用先(事業所)との情報共有や会議等の連携体制 ◆進路についてお子様とご家族への相談援助又は準備の支援 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療機関や保健センター、教育等の専門機関との連携 ◆個別の担当者会議への出席 ◆自立支援協議会(定例会等)への出席 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ◆事業所内研修の実施(義務化されている研修+BLS研修) ◆職種毎の専門的な外部研修(看護師向け、指導員向け、管理者向け等) 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ◆戸外活動(お出かけイベント) ◆季節に応じた行事イベント(夏祭り、水遊び、クリスマス会等) 							